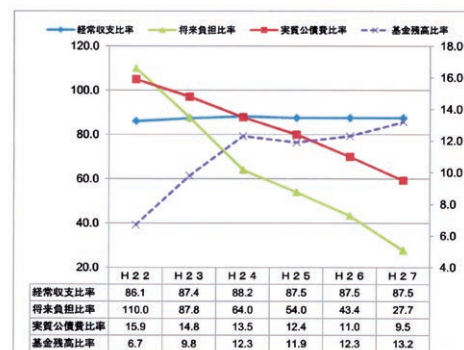


岡山市の財政と予算



経常収支比率……財政構造の弾力性を示す指標。比率が低いほど弾力性が高いことを示します。
 将来負担比率……収入に対する負債現在高の割合。比率が低いほど将来の負担が少ないことを示します。
 実質公債費比率……収入に対する負債の返済割合。比率が低いほど財政を圧迫しないことを示します。
 基金残高比率……収入に対する貯金の割合。比率が高いほど予備金増や減や繰越金への対応が可能となります。

財政の状況

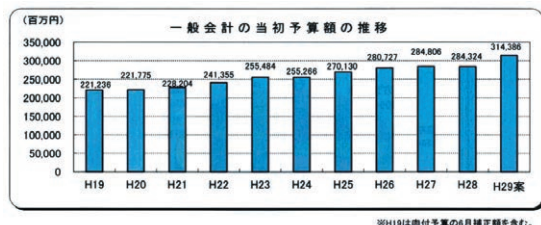
岡山市では積極的な行財政改革を推し進めた結果、平成18年度をピークとして債務残高は約1000億円削減され、経常収支比率・実質公債費比率等も改善し、基金残高も約300億円となりました。しかし、今後の税収等の一般財源の動向は先行きが不透明であり、少子高齢化の進展による社会保障関係費の増加や市有施設の耐震化及び老朽化施設の改修・更新等にも多額の経費が必要となることが見込まれており、このような状況に適切に対応する必要があります。

29年度予算

第六次総合計画長期構想に掲げる都市づくりの基本目標及び3つの将来都市像の実現に向け、岡山市の都市づくりを総合的・計画的に進めていくための具体的な方向性を示す前期中期計画に沿って、岡山市固有の強みや特性を最大限にいかしながら「子ども・子育て」「教育」「地域の振興」「産業・観光」等における現状の課題に全力で取り組む事で、未来の岡山市を担う人材を育み、豊かで活力ある地域づくりにつながる施策に重点を置いて編成しています。

(単位:百万円)

区分	平成29年度 当初予算(案)	平成28年度 当初予算	増減額	対前年度比
一般会計	314,386	284,324	30,062	10.6%
特別会計	192,865	193,591	△726	△0.4%
事業会計	73,524	71,769	1,755	2.4%
合計	580,775	549,684	31,091	5.7%



今年度の主な事業

子ども医療費助成制度

子ども医療費の外来助成について、対象年齢を就学前から小学校6年生までに拡大し、4月から外来診療自己負担割合を1割に軽減しました。

幼保一体化事業

「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」を基本方針として、幼保一体化の推進・施設配置の最適化及び未入園児童の縮減を図ります。

東山斎場整備事業

老朽化・未耐震で待合室が狭くバリアフリーにも対応できていないことから、平成30年度供用開始を目途に現地での建て替え整備をしています。

県費教職員給与負担

29年度から教員の任免権に加え、教職員定数・配置等の権限、給与等の負担を県から指定都市に移譲し、包括的な制度運営を実施します。

ホストタウン事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、ブルガリア共和国を相手としたホストタウンとして事前キャンプ等を誘致します。

岡山西部総合公園整備

岡山操車場跡地の「総合公園区域」について市民が集い楽しむ総合公園として、また、災害時には防災拠点となる防災公園として整備します。

高島小学校校舎増築事業

児童数が急増し、プレハブ教室で対応していた高島小学校、今後も児童数の増加が予想されるため校舎を増築市、教育環境の改善を図ります。

操山地区公民館整備事業

唯一地区公民館が未整備の操山地区の状況を解消するとともに、老朽化している教育相談室・適応指導教室建て替える為複合化し整備します。

中四国のナンバーワン都市を目指して

政令指定都市移行から8年目を迎えた岡山市、中四国のナンバーワン都市を目指し、少子高齢化・人口減少社会の波を克服し、未来への発展を成し遂げるため、より中長期的な視野にたった戦略が必要であります。そこで以下の事について述べさせていただきます。

医療・福祉産業の充実

操車場跡地整備区域内西側3haに「健康・医療・福祉施設」を定期借地方式により民間施設を誘致し、民間活力を利用した健康・医療の充実や賑わいの創出を図るべく、昨年7月に参加企業を募集し審査が行われています。

岡山大学医学部・歯学部、川崎医科大学グループがあり、市内の総合病院が新築され医療体制は更に充実しました。

岡山は産・官・学の連携強化によりこれらを強みとした産業構造の拡大・構築こそが、未来の岡山の産業を牽引するものであります。操車場跡地における民間施設の誘致が岡山の未来に大きく貢献出来ることに期待しています。



岡山市民病院

子育て環境の充実



妊娠から出産・産後の検診や相談、祝い金や支援金も大切ですが、共働き世帯や母子世帯が増加し、行政の役割、企業の役割、地域の役割、保育・教育の役割・サービスの充実が重要です。特に保育園・放課後児童クラブ等への希望者は増加しており、希望する全ての世帯の期待に応える事が重要です。岡山市においても保育園や放課後児童クラブの待機児童の解消は急務であります。また、貧困家庭も拡大傾向にあり、就学援助の項目・費用の充実も重要であり、家庭環境等の違いはあれど格差のない子育て環境の整備は急務だと思っています。

スポーツの振興の為には、競技施設の充実、競技力の向上が欠かせません。岡山県では戦後2回の国体を開催し、それぞれ天皇杯・皇后杯を獲得しましたが、この岡山市内中心部の施設は完全に不足しています。特に全国レベルの大会の開催には主催団体が頭を悩ませております。甲子園予選は岡山球場では規格不足と老朽化の為行われていません。岡山武道館も同じであり、大きな大会が出来ません。弓道も大きな大会は井原市や玉野市で行われています。

スポーツの振興は都市力を示すもの、政令指定都市にふさわしい施設整備を目指します。

スポーツ施設の充実



岡山県武道館

市政報告会開催のご案内

日時：平成29年4月15日(土) 18時半より
 場所：岡山プラザホテル
 ※詳細は三木迄 090-3742-5076

市政報告会開催のお願い

場所・人数は問いません。町内公会堂・個人宅で開いてください。市政報告や皆様の市政へのご意見やご要望をお聞きます。

何でもご相談下さい！
 お待ちしています！

事務所住所
 703-8244

岡山市中区藤原西町1-2-5-1
 電話 271-0016 Fax273-3214